

研究タイトル：

平安時代後期物語の研究／日本古典籍・漢籍の目録作成



氏名： 赤迫 照子／AKASAKO Shoko E-mail: sakasako@ube-k.ac.jp

職名： 准教授 学位： 博士(文学)

所属学会・協会： 中古文学会, 広島大学国語国文学会, 広島女子大学国文学会

キーワード： 『夜の寝覚』, 『浜松中納言物語』, 平安時代後期, 『源氏物語』, 日本古典籍, 漢籍, 写本, 版本, 目録, 国語教育, 図書館

技術相談

提供可能技術：

- ・『源氏物語』をはじめとする古典文学の読書会や、変体仮名を読むための講習会・教養講座
- ・地域や個人が所蔵する日本古典籍・漢籍の調査及び目録作成
- ・図書館と中等・高等教育機関の連携に関すること

研究内容： 平安時代後期物語の研究／日本古典籍・漢籍の目録作成

(1) 『夜の寝覚』研究

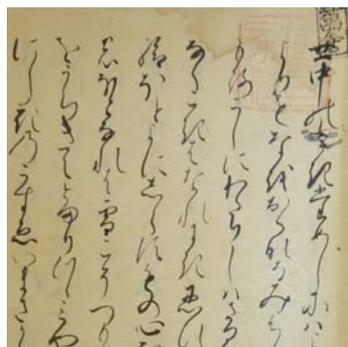
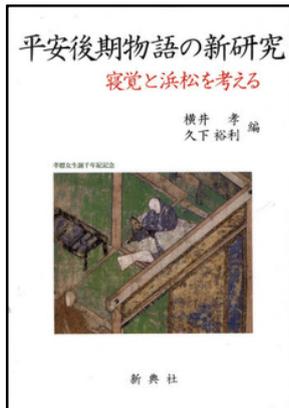
平安時代後期物語である『夜の寝覚』が『源氏物語』にどのように依存し、『源氏物語』の亜流となることからどのように脱却したのかを研究している。下掲所収の拙稿で、『夜の寝覚』は『源氏物語』の論理に依存しつつも、『源氏物語』とは全く正反対に、藤原摂関体制の物語として構築していることを指摘した。

(2) 『浜松中納言物語』享受研究

現在まで約 50 点が確認されている『浜松中納言物語』の写本を調査し、この物語を誰がどのように享受し書写したのかを研究している。学界未報告であった大阪府立中之島図書館中西文庫本を調査したところ、本居宣長とその一門による享受と書写の様相が明らかになった。

(3) 日本古典籍・漢籍の目録作成による学術情報基盤整備の推進

平成 20 年度に漢籍整理長期研修(東京大学東洋文化研究所東洋学研究情報センター)を受講し、中国の伝統的な分類法「四部分類」を学習した。前任校である広島大学が所蔵する漢籍(和刻本・準漢籍を含む)の目録を作成し、現在、出版に向けて準備を進めている。



萩市立萩図書館所蔵『浜松中納言物語』写本



既発表の漢籍目録

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	